

第 33 回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、平成 12 年 6 月より四半期 (3、6、9、12 月) ごとに実施している調査。

今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業
日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2008 年 6 月 13 日 ~ 2008 年 6 月 24 日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回収状況： 有効回収数 75 社

2008 年 7 月

調査結果のポイント

全般的概況はマイナス3.9とやや後退、先行きには尚不安

現況(平成20年6月)の各社の業況判断DI値は、マイナス3.9と前回調査時の8.0から、11.9ポイントの悪化となった。

見通し(3ヶ月後)については、マイナス10.6と先行きへの不安を尚残している。

< 小規模事業者で現況改善、見通しは各規模で悪化 >

大規模事業者でDI値22.7と前回から6.5ポイントの悪化。中規模事業者でDI値マイナス20.7と前回から20.7ポイントの悪化。小規模事業者はDI値マイナス26.7と前回から7.5ポイントの悪化となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス26.7)、中規模事業者(マイナス27.6)、大規模事業者(11.1)と、大・中規模事業者で現況より悪い数値となっている。

パチンコ現況は悪化、各規模事業者ともに下げる

パチンコの稼動状況のDI値は、前回の28.7から2.9と25.8ポイントの悪化となった。見通し(3ヶ月後)では、1.9となっており、ぎりぎりプラス圏内での推移となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は13.8ポイントの減少、中規模事業者は25.4ポイントの減少、大規模事業者は32.2ポイントの減少と各規模ともに下げている。

5号機時代を迎えて以降、低迷続くパチスロ市況

パチスロの稼動状況のDI値は、前回のマイナス33.3からマイナス48.1と14.8ポイントの悪化となっている。3月期はやや持ち直したものの、5号機時代を迎えてパチスロ市況は低迷を続けている。見通し(3ヶ月後)は、マイナス53.8と、尚厳しいものとなっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は21.5ポイントの悪化、中規模事業者は24.9ポイントの悪化、大規模事業者は5.6ポイントの悪化となっている。

先行き見通しについては、小規模事業者ではマイナス76.7、中規模事業者ではマイナス69.0、大規模事業者でもマイナス28.9と厳しい見通しとなっている。

採用実績・成果とも高い『低貸玉』、更なる普及見込み

< 事業規模問わず採用される「低貸玉」 >

店舗差別化のため採用している営業施策は、「低貸玉での営業」(44.0%)、「禁煙コーナーの設置」(22.7%)の順となっている。「禁煙コーナーの設置」は規模が大きな事業者ほど実施割合が高くなっているが、「低貸玉での営業」は事業規模を問わずに採用されている。

1年前の同時期の調査では、「低貸玉での営業」15.6%、「禁煙コーナーの設置」8.9%であり、「低貸玉での営業」の普及状況がみてとれる。今後採用を検討している割合を加えると、「低貸玉」が60.0%とさらなる普及拡大が見込まれていることがわかる。

現在採用している施策中、営業的な成果を上げている割合は、「低貸玉での営業」(78.8%)、「外部提携による景品拡充」(57.1%)、「複数交換率の採用」(53.8%)の順となっている。

景況キーワード















低貸玉が業績に貢献する一方、企業間格差拡大の懸念

『1円パチンコ導入により、業績はいい』など、低貸玉が成果を上げている店が増えている。一方で、『パチンコ島への変更による設備投資、機械代の増加で経営が厳しくなり、今後低玉貸し店舗が増える』や『内部資金が豊かな企業しか出店できず、一層大手との格差が広がるような気がする。』といった意見にあるように企業間格差拡大への懸念も強くなっている。

景気後退局面で、顧客動向に注意が必要との認識広がる






そうした競争環境化で、『お客様の財布が小さくなっているのが、ひしひしと感じられる。これまでよりも、ずっと客層について意識的にならないといけないと思う。』や、『自粛明け後の入替ラッシュ時に、顧客は付いてこられるかどうか疑問。』など、景気の先行きに明るさが見えないだけに、お客様動向に今まで以上に気を配らないといけないとの認識も広がってきている。

< 主要指標 パチンコ業界全体 >

項目	D.I. 値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	8.0	-3.9	-10.6	 ⇨ 	全般的業況は引き続いて曇り。見通しは雨に転落。	
2. 稼働状況（パチンコ）	28.7	2.9	1.9	 ⇨ 	現況は薄曇りから曇りに悪化。先行き見通しは曇りを維持。	
3. 稼働状況（パチスロ）	-33.3	-48.1	-53.8	 ⇨ 	現況引き続いて雷雨。先行き見通しも雷雨で、数値小幅悪化。	
4. 資本投入気運の変化（台）	9.2	-5.4	-8.0	 ⇨ 	現況は引き続いて曇りに。見通しは曇りを維持。	
5. 資本投入気運の変化（設備）	4.7	-13.5	-16.4	 ⇨ 	現況は曇りから雨に悪化。見通しも雨模様。	
6. 営業用設備の不足感	3.5	5.8	3.8	 ⇨ 	設備不足感横ばい。見通しも小康状態を保つ。	
7. 雇用人員の不足感	46.5	27.9	26.9	 ⇨ 	人材不足感はやや和らぐ。見通しは横ばい圏内。	

注：前回現状は 2008 年 3 月調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
 晴れ	30.0 ~	 雨	-29.9 ~ -10.0
 薄曇り	10.0 ~ 29.9	 雷雨	~ -30.0
 曇り	-9.9 ~ 9.9		

全般的概要 - 業況

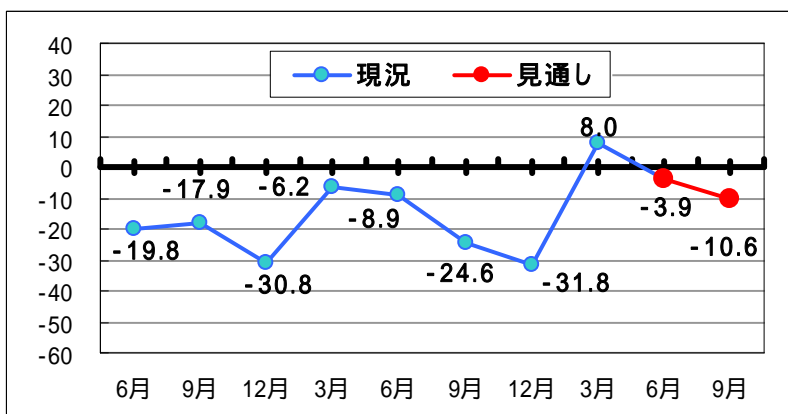
業況判断DI値はマイナス 3.9 とやや後退、先行きには尚不安

現況(平成 20 年 6 月の業況判断)は「良い」が 9.8 ポイント減少して 19.4%となり、「悪い」が 2.1 ポイント増加して 23.3%となり、DI指数はマイナス 3.9 と前回の 8.0 から、11.9 ポイントの悪化となった。

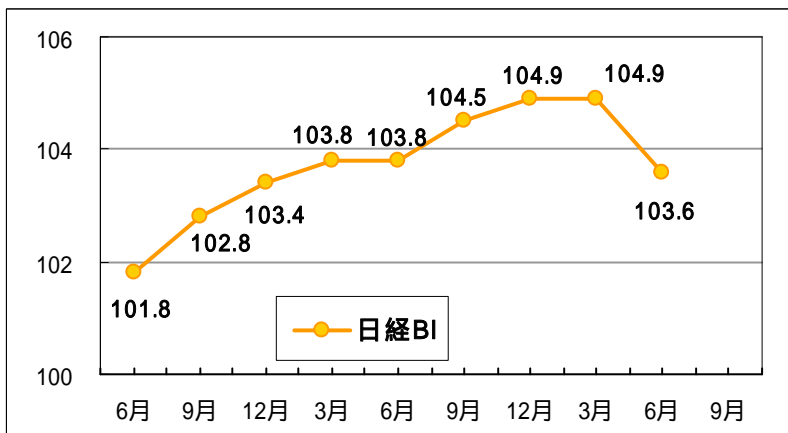
見通し(3ヶ月後)については、マイナス 10.6 と先行きへの不安を尚残している。

代表的な民間の景気動向指数である「日経BI」4月速報値は 103.6(2005 年 7 月 = 100)と前月を 0.7 ポイント下回った。低下は 2ヶ月連続となっている。日経BIは、鉱工業生産、商業販売額、有効求人倍率、所定外労働時間の 4 指標に共通する「景気の波」を取り出したもの。今回の景気回復局面での日経BIのピークはいまのところ 07 年 10 月の 105.4。それ以降は、08 年 2 月に上昇した以外はすべて前月比マイナスでの推移となっている。

< 現況の推移と見通し >



< 日経景気インデックスデータ (日系BI) >



インデックスデータは、1 - 3月の平均を3月に示した。直近の6月は4月速報値。

日経景気インデックス (日経BI)

景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の 4 つの側面を代表する指標 (鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率) から共通する「景気の波」を抽出したもの。「景気」そのものの変化方向と水準を表す。構成要素の 4 指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。

BI はビジネス・インデックス (Business Index) の略。(2005 年 7 月 = 100)

全般的概況 - 判断理由と経営上の課題

小規模事業者では『店舗数の増加』が悪業績の理由。大規模事業者では『顧客単価の上昇』が好業績の理由に。

業況判断を「悪い」(19.4%)と下した理由は、『来店客数の減少』(69.6%)、『顧客単価の減少』(17.4%)、『店舗数の増加』(8.7%)の順となっている。

『店舗数の増加』の影響をうけているのは、全て小規模事業者(1~3店)となっている。一方で、大規模事業者(11店以上)では、75.0%が『客単価の上昇』を業績が良い理由としてあげている。保有店舗数による業績格差の一端がみとれる。

全体では『資金調達』『時間帯・曜日などの客の偏り』が上昇

経営上の問題点の上位項目で、全体で前回より回答率が上昇したのは『資金調達』(39.2%:6.6ポイント上昇)、『時間帯・曜日などの客の偏り』(21.6%:5.9ポイント上昇)、などとなっている。

事業者の規模別にみると、小規模事業者では、『不明瞭な行政指導』(32.1%)で20.6ポイントポイント上昇している。中規模事業者では『資金調達』(40.7%)で15.7ポイント上昇している。大規模事業者では、『組合の自主規制』(15.8%)で15.8ポイントの上昇となっている。

事業者規模を問わず、『人材教育・育成』と『他の同業他社との競争激化』は共通の課題として引き続いて高い割合を占めている。

< 経営上の課題 >

項目	全体 (12月)	全体 (3月)	全体 (6月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
人材教育・育成	47.8%	50.6%	51.4%	53.6%	48.1%	52.6%
他の同業他社との競争激化	42.0%	47.2%	50.0%	53.6%	51.9%	42.1%
資金調達	26.1%	32.6%	39.2%	46.4%	40.7%	26.3%
人材不足・人材確保	37.7%	42.7%	29.7%	28.6%	18.5%	47.4%
設備・運営費の増加	26.1%	34.8%	23.0%	17.9%	25.9%	26.3%
不明瞭な行政指導	21.7%	19.1%	23.0%	32.1%	11.1%	26.3%
時間帯・曜日などの客の偏り	10.1%	15.7%	21.6%	21.4%	22.2%	21.1%
公的な規制	24.6%	20.2%	14.9%	14.3%	11.1%	21.1%
人件費の増加	11.6%	14.6%	13.5%	17.9%	14.8%	5.3%
料金改定が困難	4.3%	0.0%	5.4%	0.0%	14.8%	0.0%
組合の自主規制	11.6%	5.6%	5.4%	0.0%	3.7%	15.8%

注：小規模事業者 = 1~3店舗 中規模事業者 = 4~10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

全般的概要 - 稼働状況

パチンコ現況は悪化、各規模事業者ともに下げ

現況の稼働状況は2.9と、前回の28.7から25.8ポイントの悪化となった。例年3月期は上昇するが、その後は下降線を辿っている。

見通し(3ヵ月後)は1.9となっており、ぎりぎりプラス圏内での推移となっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店舗保有)がマイナス13.8、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス3.4、大規模事業者(11店舗以上保有)が17.3となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は13.8ポイントの減少、中規模事業者は25.4ポイントの減少、大規模事業者は32.2ポイントの減少と各規模ともに下げている。

5号機時代を迎えて以降、低迷続くパチスロ市況

現況の稼働状況は、マイナス48.1と、前回のマイナス33.3からは14.8ポイントの悪化となっている。3月期はやや持ち直したものの、5号機時代を迎えてパチスロ市況は低迷を続けている。

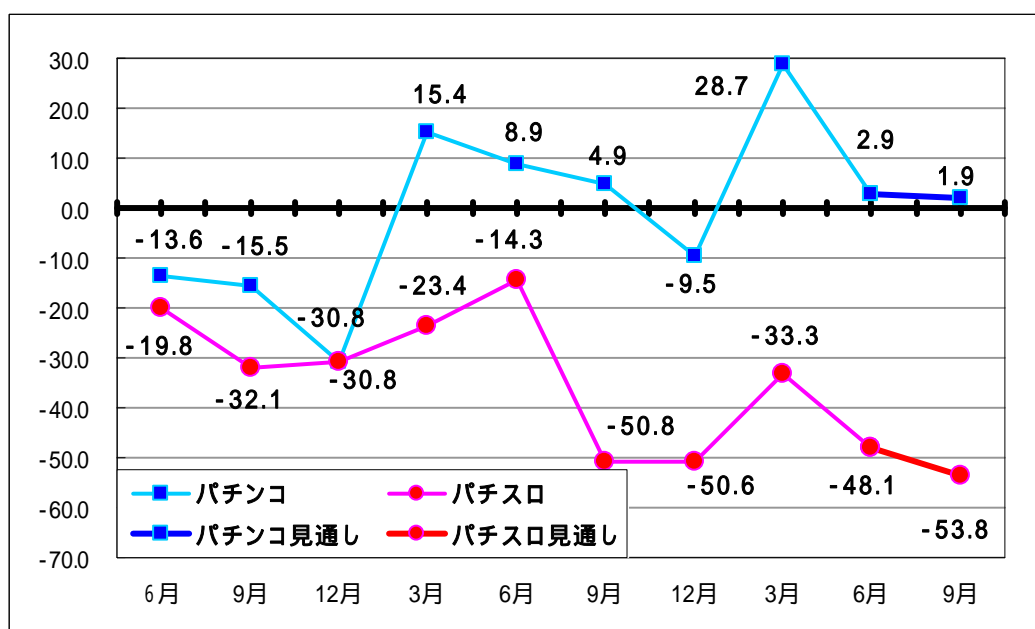
見通し(3ヶ月後)は、マイナス53.8と、尚厳しいものとなっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店舗保有)がマイナス60.0、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス72.4、大規模事業者(11店舗以上保有)がマイナス24.4となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は21.5ポイントの悪化、中規模事業者は24.9ポイントの悪化、大規模事業者は5.6ポイントの悪化となっている。

先行き見通しについては、小規模事業者ではマイナス76.7、中規模事業者ではマイナス69.0、大規模事業者でもマイナス28.9と厳しい見通しとなっている。

<稼働状況の推移と見通し(パチンコとパチスロ)>



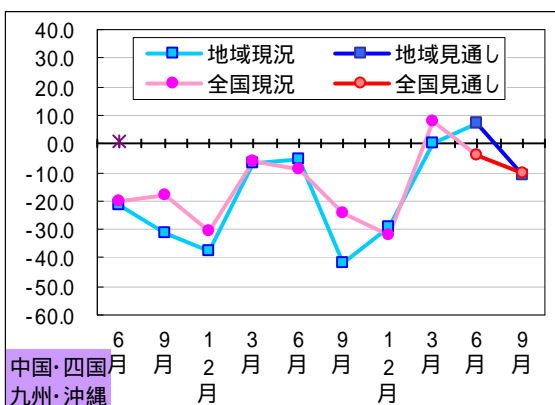
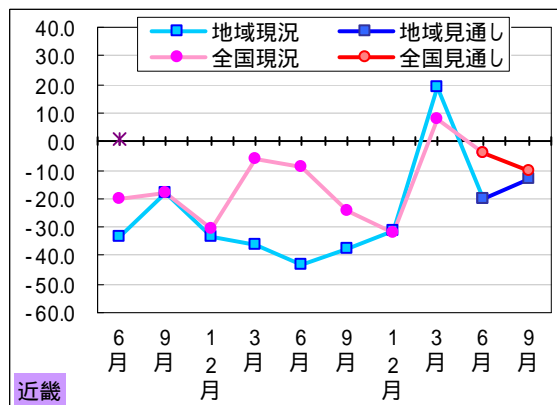
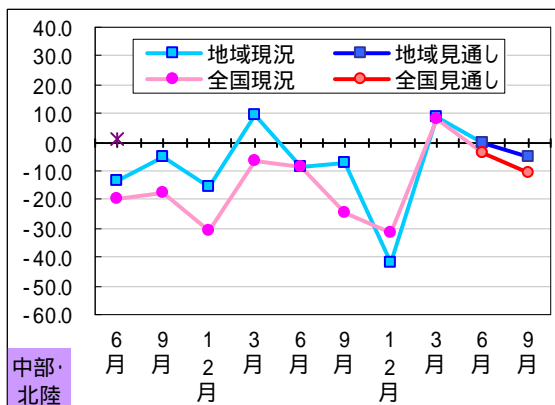
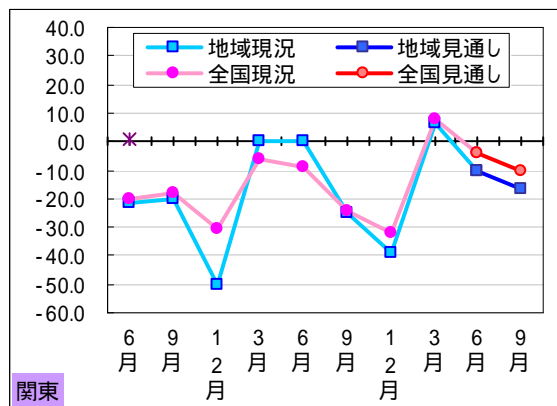
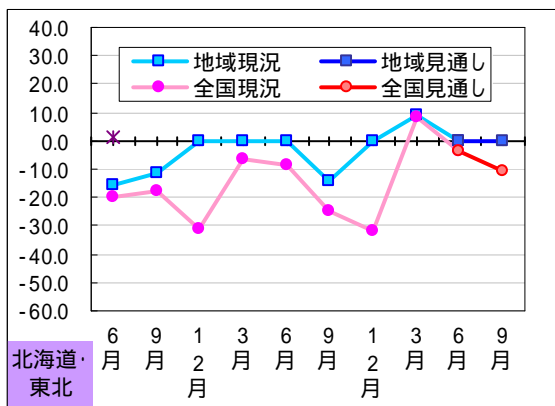
地域別の業況

「中・四国、九州・沖縄」除き現況悪化、見通しは±0の「北海道」を除いてマイナス圏に

現況のDI値は、「中国・四国・九州・沖縄」(現況 DI 値 7.4)を除く各地で数値を悪化させた。現況マイナス数値は「近畿」(マイナス 20.0)と「関東」(マイナス 10.0)の2エリア。

見通し(3ヶ月後)については、±0.0の「北海道・東北」を除いて数値を下げ、全てマイナス圏の数値となっている。

< 地域別 業況 >



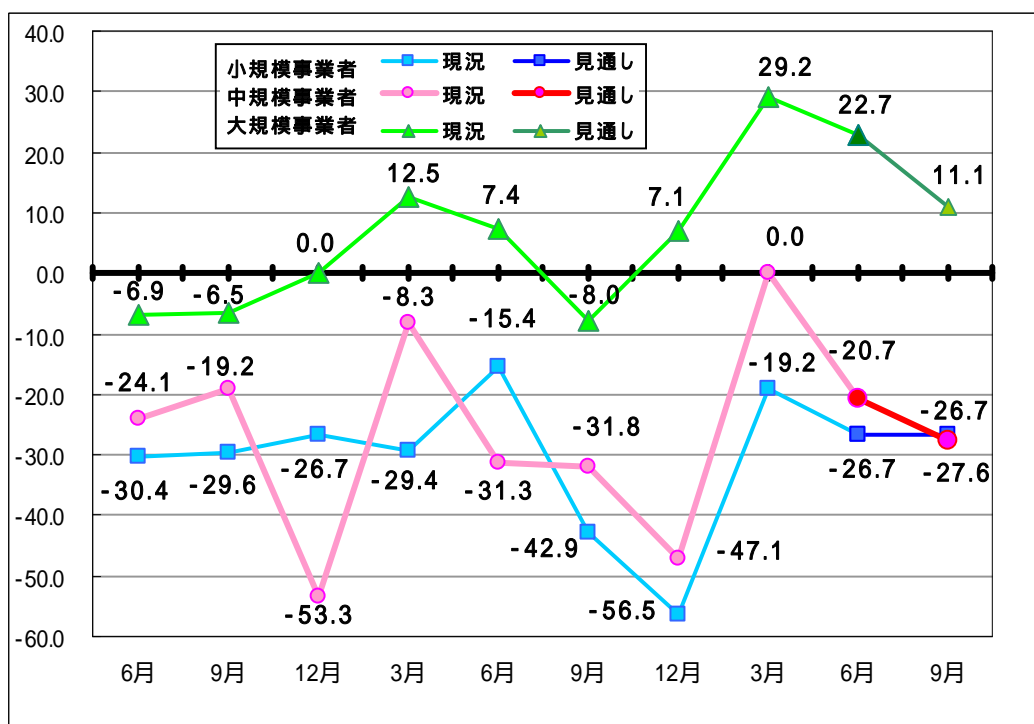
規模別業況

各規模で現況悪化、見通しは大・中で下げ

現況の業況判断を規模別にみると、大規模事業者でDI値 22.7 と前回から 6.5 ポイントの悪化。中規模事業者でDI値マイナス 20.7 と前回から 20.7 ポイントの悪化。小規模事業者はDI値マイナス 26.7 と前回から 7.5 ポイントの悪化となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス 26.7)、中規模事業者(マイナス 27.6)、大規模事業者(11.1)と、大・中規模事業者で現況より悪い数値となっている。

< 規模別：業況の推移と見通し >



注：小規模事業者 = 1 ~ 3 店舗 中規模事業者 = 4 ~ 10 店舗 大規模事業者 = 11 店舗以上

差別化営業施策の実施について

採用実績・成果とも高い『低貸玉』、更なる普及見込み

店舗差別化のため採用している営業施策は、「低貸玉での営業」(44.0%)、「禁煙コーナーの設置」(22.7%)の順となっている。「禁煙コーナーの設置」は規模が大きな事業者ほど実施割合が高くなっているが、「低貸玉での営業」は事業規模を問わずに採用されている。

1年前の同時期の調査では、「低貸玉での営業」15.6%、「禁煙コーナーの設置」8.9%であり、「低貸玉での営業」の普及状況がみてとれる。今後採用を検討している割合を加えると、「低貸玉」が60.0%とさらなる普及拡大が見込まれていることがわかる。

現在採用している施策中、営業的な成果を上げている割合は、「低貸玉での営業」(78.8%)、「外部提携による景品拡充」(57.1%)、「複数交換率の採用」(53.8%)の順となっている。

低貸玉営業が、一定の効果を挙げている様子が数字からも見て取れる。

< 現在採用している施策 >

項目	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
禁煙コーナーの設置	22.7%	13.8%	22.2%	36.8%
低貸玉での営業	44.0%	34.5%	48.1%	52.6%
外部提携による景品充実	18.7%	13.8%	11.1%	36.8%
複数の交換率採用	17.3%	13.8%	14.8%	26.3%
特定機種(機種タイプ)専門店	2.7%	0.0%	3.7%	5.3%

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

< 現在採用と今後の採用検討施策の合計 >

項目	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
禁煙コーナーの設置	41.3%	34.5%	29.6%	68.4%
低貸玉での営業	60.0%	48.3%	63.0%	73.7%
外部提携による景品充実	34.7%	27.6%	29.6%	52.6%
複数の交換率採用	30.7%	24.1%	33.3%	36.8%
特定機種(機種タイプ)専門店	6.7%	3.4%	3.7%	15.8%

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

< 営業的な成果ありの割合(施策実施企業中) >

項目	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
禁煙コーナーの設置	23.5%	25.0%	16.7%	28.6%
低貸玉での営業	78.8%	60.0%	92.3%	80.0%
外部提携による景品充実	57.1%	75.0%	33.3%	57.1%
複数の交換率採用	53.8%	50.0%	75.0%	40.0%
特定機種(機種タイプ)専門店	50.0%	-	100.0%	0.0%

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

調査結果概要 DATA

規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-19.2	-26.7	-26.7	0.0	-20.7	-27.6	29.2	22.7	11.1
2. 稼働状況（パチンコ）		0.0	-13.8	-10.3	22.0	-3.4	-3.4	50.0	17.8	13.3
3. 稼働状況（パチスロ）		-38.5	-60.0	-76.7	-47.5	-72.4	-69.0	-18.8	-24.4	-28.9
4. 資本投入気運の変化（台）		11.5	-3.6	0.0	18.4	-7.4	-14.8	-8.7	-5.3	-5.3
5. 資本投入機運の変化（設備）		12.0	-13.8	-17.9	8.1	-19.2	-19.2	-8.7	-5.3	-10.5
6. 営業用設備の不足感		19.2	13.3	16.7	-5.0	-3.4	-6.9	2.1	6.7	2.2
7. 雇用人員の不足感		57.7	16.7	16.7	45.0	31.0	27.6	41.7	33.3	33.3

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		9.1	0.0	0.0	6.3	-10.0	-16.7	8.7	0.0	-5.0
2. 稼働状況（パチンコ）		18.2	0.0	0.0	25.0	-3.3	-3.3	34.8	21.1	21.1
3. 稼働状況（パチスロ）		-27.3	-58.3	-50.0	-34.4	-60.0	-70.0	-47.8	-30.0	-40.0
4. 営業用設備の不足感		0.0	-8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
5. 雇用人員の不足感		27.3	25.0	25.0	62.5	40.0	36.7	52.2	25.0	30.0
項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄			営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し			
1. 全般的業況		19.0	-20.0	-13.3	0.0	7.4	-11.1			
2. 稼働状況（パチンコ）		23.8	-6.7	-6.7	35.7	3.7	0.0			
3. 稼働状況（パチスロ）		-19.0	-53.3	-53.3	-33.3	-40.7	-48.1			
4. 営業用設備の不足感		19.0	6.7	-6.7	0.0	18.5	-18.5			
5. 雇用人員の不足感		42.9	20.0	13.3	33.3	22.2	-22.2			

資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査
資金繰り		-29.4	-19.3	-18.7	-56.5	-42.3	-44.8	-22.6	-7.7	-29.6	0.0	-13.0	36.8
貸出態度		-29.4	-40.2	-37.8	-39.1	-50.0	-51.7	-32.3	-34.2	-50.0	-7.1	-39.1	0.0
借入金利		-16.7	-11.6	-14.7	-9.1	-3.8	-13.8	-22.6	-2.6	-11.1	-15.4	-36.4	-21.1

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

SERVICE

提供商品

Entertainment Business Institute



基礎研究・応用研究

コンサルティング・講演・勉強会

・経営支援・人材育成・店舗運営・事業企画、開発

パーラー向け会員サービス「Aclub」

・電子メール、FAX情報提供・セミナー優待

出版・研究報告書

・パチンコ参加実態調査
・駅別乗降者数総覧<年刊>
・研究報告書、関連書籍

インターネット・システム構築

・社内ネットワーク設計
・ホームページ制作、運用支援

カジノ関連

・UNLVエグゼクティブセミナー
・カジノ視察ツアーコーディネート



**Entertainment
Business
Institute**

株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

<http://www.eb-i.jp>

メール：info@eb-i.jp

電話：03-5688-4751

ファックス：03-5688-5353